

保育計画成果報告書

法人名等	株式会社プエンテ
施設名	ちきーと保育園
報告者（役職）	花城 直子（園長）
住所・連絡先	沖縄県宜野湾市大謝名 5-21-24 三竹ビル 201
	☎ 098-898-2611
	E-mail chiquitohoikuenn@gmail.com

○タイトル（保育計画）

『絵本で育む子どものころ』～絵本があたえてくれるもの～

○主な助成備品

絵本、大型絵本、紙芝居、パネルシアターセット、ぴったりカード

1. 保育計画策定の目的

当園は、平成28年度に沖縄県宜野湾市に新設された小規模保育園で、0、1、2歳児定員19名の園です。乳幼児期には良い絵本を与える事は大切で、職員も日々の保育に読み聞かせを多く取り入れていましたが、新設の園という事もあり絵本、大型絵本の冊数が不足しているという現状でした。

また2歳児になるとカードあそびやパズルあそびに興味を示し、保育士の行うペープサートやパネルシアターなども喜びます。それらを思うように準備できない事もあり、絵本の持つ楽しい世界を伝えることが不十分でした。たくさんの絵本との出会いは、こども達の感性が豊になり、想像力や知的好奇心を育むこととなります。そして、絵本の冊数が増える事で貸出しを実施することができ、家庭で親子のコミュニケーションの時間が充実するだろうと予測しました。この計画は、保育所保育指針にも謳われている子育て支援の一端を担うことにもなると考え、策定致しました。

2. 具体的な実施内容

子ども達が、自由に手の届く場所に絵本棚を設置して、絵本を並べました。週に一度、2冊の好きな絵本を選び、1週間後に返却します。家庭で保護者も我が子にたくさんの絵本を読み聞かせする事ができるようになりました。朝の登園後は支度を済ませると自由に好きな絵本を選んで、保育士に読んでもらったり自分で観ています。

0歳児は保育士の膝に座り、1、2歳児は保育士のまわりに自然と集まり5、6冊読んでもらい集中して観ています。それぞれ好きな1冊があり0歳児でも「これ！よんで！」

と保育士に差し出す仕草をします。1，2歳児になると自分でページをめくり、場面を覚えていて、声に出して繰り返し何度も観ています。



講師を招き絵本の読み聞かせの大切さを保護者に伝える子育て講座『絵本が与えてくれるもの』を開催。



誕生会、七夕会やひな祭り会の際は、てあそびや歌をうたい、保育士の演じるパネルシアターを観て、話の展開に目を輝かせている子ども達。



クリスマスおゆうぎ会で「てぶくろ」の絵本を導入で用い、それぞれ動物になりきりオペレッタの練習風景。



「のりもの」の絵本の読み聞かせの後 ⇒ みんなで考えてバスの製作に展開、バスごっこに発展して、のりものあそびをしました。



カードあそびから買いものごっこに発展しました。

3. その成果と評価

登園して、支度を終えた子ども達は以前にも増して、自分で好きな絵本を選んで集中して観ています。絵本の世界から他児との会話も弾み語彙数も増え、ことばの成長に目を見張る毎日です。言葉の力が増す事にて、保護者や保育士との意思の疎通がスムーズになり0、1歳児も自分の要求を解ってくれると安心し、笑顔も増え、情緒も安定します。2歳児は、友だちと自由に会話ができるようになり、協調性や社会性の発達にもつながります。

育児支援のため開催した絵本の読み聞かせ講座も好評で、その後保護者も絵本の貸出日には、積極的に子どもの好きな絵本を借りる姿も見られ、家庭での就寝時、絵本の読み聞かせに熱心な保護者も増えました。講座の中で、乳幼児期に両親、特に父親に就寝時に絵本やお話をしてもらった記憶は鮮明に大人になると蘇るようで、発育（自己肯定感）に多大な影響を及ぼすとのことでした。「自分を好きで、自分を認める事」は自信につながり、性格形成にも良い影響を及ぼすことでしょう。

誕生会の大型絵本や行事のペープサートも保育士が演じるのを楽しみに待ち、いろいろな絵に感性も豊かになります。また保育時間には、お話からごっこ遊びや劇あそびに発展。クリスマスおゆうぎ会では、オペレッタを上手に演じ、みんなの拍手喝采を浴びました。想像力、表現力が豊かになり子ども達の日々の成長を保護者と共に喜んでいきます。

4. 今後の課題と展望

今後、保育士は絵本を用いた保育内容の充実を図り、園内研修会および園外研修会に参加して、保育所保育指針の講義の基、絵本から発展した健康、言葉、人間関係、環境、表現と五領域の知識、技能を学び、更なるスキルアップを目指します。

絵本もさらに自園で徐々に増やしていき、子どもの心の成長につながる事を認識する機会も増える事でしょう。

- ・保育士、保護者とのコミュニケーションのきっかけになる
- ・きれいな絵を見て感性が豊になる
- ・絵本の世界に触れる事で、知的好奇心が刺激される
- ・場面を想像することで、想像力が育つ
- ・言葉の表現を知ること、語彙力が育つ

これらの事と子どもの発達保障を常に念頭に置いて、絵本を与える重要性をますます考慮しながら、楽しくワクワクする保育を心がけて参ります。

以上